

地震および津波に関する警報発表時の対応について

1 授業日における自宅での対応（在宅時）

種 類	対 応
・ 非常に強い地震 震度6弱以上 ・ 大津波警報	○自宅待機とする。 学校は臨時休業になる可能性が高い。 可能な限り、学級担任と安否確認の連絡を取り合う。
・ 強い地震 震度5弱・5強 ・ 津波警報	○津波警報発表中は登校しない。解除後安全を確認して登校する。 ○場所によって危険なところは無理せず自宅待機。 自宅待機とした場合は学校に連絡する。 ○午前10時までに公共交通機関が運行したり、通学路の安全が確認されたりしたときは登校する。
・ やや強い地震 震度4 ・ 津波注意報	○安全面に注意して登校する。 ○地域の状況や交通機関等の状況により、やむを得ない場合は学校へ連絡した上で自宅待機とする。

※午前10時に警報が継続されている場合は、臨時休業とする。

2 登下校中での対応

自転車・徒歩通学者	○各自で安全な場所に避難する。 ・ ブロック塀・自動販売機等転倒の可能性があるものや、窓ガラスの破片・外壁が落下する可能性がある場所から離れる。 ・ カバン・バッグなどで頭部を保護し、安全な場所で身を伏せる。 ・ 崖下・川岸・橋の上・ガス漏れ箇所・切れた電線等からすみやかに遠ざかる。 ・ 沿岸部やため池近くでは、高台や頑丈な建物の3階以上に避難する。 ○保護者に連絡する。 ○登校中の場合は、安全等の状況を十分確認して、可能な場合は登校する。
-----------	--

※常日頃より通学路について危険箇所と避難場所の確認をしておく。

公共交通機関通学者	○乗務員・駅員の指示に従う。安全確保できた段階で保護者に連絡をする。
-----------	------------------------------------

※鬼無小学校が緊急避難場所に指定されている。（鬼無地区西高周辺の緊急避難場所として）

※自宅に帰ったり、指定避難場所に避難したりして学校へ行けなくなった場合は、できる限り早く学校（087-882-6411）に連絡する。

3 学校にいるときの対応（登下校時で既に登校完了している場合を含む）

○屋内の場合は、ガラス窓から離れ、机等の下に避難し安全な体勢をとる。 ○屋外の場合は、倒壊のおそれのあるものから離れ、落下・飛来物から頭部を守る。揺れがおさまった後に、グラウンドに避難する。 ○土砂災害警戒情報が確認された場合は、各建物の上の階へ垂直避難する。
--

保護者の方へ

- 地震が収まった段階でHP、Classi等で対応を連絡をしますので、ご協力お願いします。
学校周辺の道路の混雑も予想されますので、学校の指示があるまで、お迎えは控えてください。
- 迎えに来られた際に大津波警報や津波警報が発表されている場合は、安全が確認されるまでは、お子様とともに学校で待機していただく場合もあります。